令和３年度那珂川町総合教育会議　議事録	
那珂川町長　福島泰夫は、令和４年１月２７日午後３時３０分、那珂川町役場において令和３年度那珂川町総合教育会議を招集した。	
出　席　者 （構成員）	町　　長　福島　泰夫 教育長　吉成　伸也 教育委員　長谷川久夫　　小幡　絹代　　渡邉　芳枝　　青木　崇
欠席者（構成員）	なし
構成員以外の出席者（事務局）	学校教育課長　　藤浪　京子
	生涯学習課長　　小松　重隆
	学校教育課主幹兼指導主事　　関　　一浩
	生涯学習課長補佐　　加藤　博行
	生涯学習課社会教育主事　　河和　秀実
	学校教育課長補佐　　村上　明美
傍　聴　人	１　名
協議事項	（1）那珂川町生涯学習推進計画及び那珂川町子ども読書活動推進計画について
	（2）コミュニティスクールと地域づくりについて
会議の内容	
１　開　会	開会宣告　学校教育課長　（午後３時３０分開会）
２　あいさつ	
町　長	皆さん、こんにちは。本日はお忙しい中、令和３年度の総合教育会議にお集まりいただきまして、ありがとうございます。教育委員の皆様には、本町の教育はもちろん、町政全般にわたりまして、日頃よりご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。また、昨年度より、新型コロナウイルス感染症の流行により、各種行事やイベントの中止、感染防止対策と引き続きご心配をおかけしております。 今年度は、町の政策の基本である第２次那珂川町総合振興計画の後期計画が開始し、本計画の重点プロジェクトである「那珂川町屋内水泳場」が間もなく完成し、ゴールデンウイーク前の開館を予定しております。

	町民の健康習慣づくり、健康増進を柱として「那珂川町に住んで良かった」と実感できる元気で魅力あふれる町となるよう、今後とも教育委員の皆様のお力添えをお願いいたします。 　さて、総合教育会議は、毎年、教育委員の皆様と共に様々な教育施策に関し、自由に意見を交換させていただいております。 　本日の議題は、「生涯学習推進計画及び子ども読書活動推進計画について」と「コミュニティースクールと地域づくりについて」であります。本年も委員の皆様の忌憚のないご意見をお聞かせいただきたいと思っております。 　簡単ですが、冒頭のあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。
３　協議事項	(進行：町長)
町　　長	それでは、私が進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。これからの進行は着座にて失礼いたします。また、ご発言や説明につきましても着座にてお願いしたいと思います。 　協議事項（１）「那珂川町生涯学習推進計画及び那珂川町子ども読書活動推進計画について」ですが、はじめに「生涯学習推進計画」から、生涯学習課の説明をお願いいたします。
生涯学習課 加藤補佐	資料、那珂川町生涯学習推進計画【第３期】計画書（案）により説明
町　　長	生涯学習課の説明が終わりました。ここで、ただ今の説明について、委員の皆さんからご質問等を頂戴したいと思います。
長谷川委員	生涯学習は、子どもからお年寄りまで内容が幅広いと思いますが、特に自己啓発のための教室や健康のためのスポーツ、それから文化的な内容が多いと思いますが、今度、那珂川町に新しくプールがオープンすると聞きましたが、町内外のたくさんの方に利用してもらいたいと思いますが、多くの方に利用していただくための案をお聞かせいただきたい。
町　　長	ただ今の長谷川委員のご質問につきましては、この後、意見交換の中で、たくさんのご意見をいただきたいと思いますので、今は、ただ今の説明の中で、ご質問等があればお聞きするということでよろしいでしょ

	うか。（長谷川委員了承）
町　　長	それでは、ただ今の説明で、ご質問等ございますでしょうか。
小幡委員	10ページの中段に、「自主活動団体の育成」とありますが、どんな活動があるのか、現状を知りたいので、質問します。
生涯学習課長	自主活動団体の数については、手持ち資料がないため、具体的な数字は、申し上げられないのですが、小川公民館を利用している団体や福祉センターで行っている団体があります。自主活動であるので、ある程度、自立されている団体かと思われますが、支援できる部分は支援していきたいと思っております。自主活動団体の中で、コロナ禍で今、地元の子ども会の活動が、ここ2年間停止している状況かと思われます。ウィズコロナの面から、何かできないか検討している状況です。
町　　長	その他、何か質問等ありますか。（質問等なし）
町　　長	それでは、他にご質問等ないようですので、先程、長谷川委員よりございましたが、生涯学習推進計画について、委員の皆様からご意見を頂戴したいと思います。まず、先程の長谷川委員から、プールの件でご意見をいただいておりますので、この件について、事務局より説明を願います。
生涯学習課長	町民プールにつきましては、ゴールデンウィークを目指して、開館の準備を進めています。12月の議会定例会で、「株式会社フクシ・エンタープライズ」を指定管理者として議決をいただいております。現在、担当者とフクシ・エンタープライズと、実際の運営面について事業者からあった提案書に基づいて、調整を進めている状況です。先日は、各学校の体育担当の先生と打ち合わせをさせていただきました。学校利用につきましては、今のところ5月から夏休みを除く9月までの午前中に学校の授業をする予定です。また、利用増に向けて、事業者の方から３０弱の数の各種教室等の提案がありましたので、開館からスタートできるものと、順次開始していけるものと、今後、事業者と詰めていきます。決まり次第、開館前に広報等でお知らせをさせていただきたいと考えております。

長谷川委員	プール利用を盛んにするために、水泳大会等を検討されてはおられますか。
生涯学習課長	水泳大会は、町民を対象とした大会と町外から集めての大会が考えられますが、水泳連盟公式のプールではございませんので、町内の任意な大会の開催であれば可能かと思います。ただ、水泳人口がどの位いるのか等も考慮が必要ですので、開館後すぐではなく、運営状況を見ながら、できる段階で開催について検討できればと考えております。
長谷川委員	広く利用してもらうために、水泳指導員による指導については、検討してほしいですね。
生涯学習課長	水泳の指導については、例えば学校を例にすると、小学校の授業については指定管理者による指導の要請がございます。また、指定管理者からスイミング教室等の自主事業の提案が、多数、メニューとして上がっておりますので、その中で行えると考えております。
町　　長	その他、委員の皆様よりご意見等ございませんか。
青木委員	「電子図書館の周知及び利用促進」とあるが、電子図書館を利用したことがないのでわからないのですが、どのように利用するのですか。
生涯学習課長	電子図書館については、昨年度の10月に導入しました。使い方につきましては、図書館でIDパスワードの発行が必要となります。IDパスワードは、図書カードがあればすぐに発行されると思います。那珂川町電子図書館のホームページにIDパスワードを入力していただくと、借りる・見るというメニュー選択もできますので、利用いただければと思います。
青木委員	図書館には、行かないと利用できませんか。
生涯学習課長	IDパスワードの発行が必要ですので、一度だけ行っていただきます。
青木委員	IDパスワードがあれば、いつでもどこでも借りられますか。
生涯学習課長	IDパスワードがあれば、スマホでも自宅でもどこでも見られます。
青木委員	例えば、小学校のタブレットで利用することはできますか。
生涯学習課長	GIGAスクールによるタブレット端末が導入されておりますので、各学校には、電子図書館の使い方について説明をさせていただいておりま

	す。ただ、授業で使うには一冊一人しか借りられないため、汎用性があり、多人数で見られるような図書もありますので、学校の方ではそちらを活用いただければと考えてます。
青木委員	「子どもたちに読んでほしい100選」の周知、啓発活動と組み合わせて行ってはどうでしょうか。
生涯学習課 加藤補佐	電子図書館と啓発活動を同時にできるかは、確認がとれておりませんが、町のホームページや図書館のホームページでの啓発活動を積極的に行ってまいりたいと思っております。
青木委員	組み合わせることが可能であれば、同時にできるのではないかと考えます。
町　　長	その他、ご意見等ございませんか。
長谷川委員	13ページに子どもの読書活動の推進とあるが、本ではないが、自分の経験から、新聞を読んで字を覚えたりしたので、子どもたちに新聞をたくさん読んでほしいと思います。今の子どもたちは、新聞をあまり読まないと思う。大人でも若い人は新聞をとっていない家庭が多いと聞きます。子ども向けの新聞を小中学校に置くようにするとよいと思います。
学校教育課 関主幹兼指導主事	新聞の活用に関しては、全国学力学習状況調査の児童・生徒への質問紙調査で、新聞の活用が学力向上につながるというアンケート結果も出ているところです。活字離れ、読み取りの向上ということを考えると、非常に有効であると考えております。学校によっては、新聞を廊下などにおいて自由に読めるような工夫をしているところもございます。また、新聞の記事を子どもたちに配布をしまして、それを読んで意見を書いていただくとか、土日の宿題にタブレットPC等で新聞の記事を送って、それに回答をいただくなどをしているところです。長谷川委員のおっしゃるとおり、活字という点では新聞は非常に有効ですので、今後の学校教育課の施策等にも取り入れていきたいと考えております。
長谷川委員	私が調べたところでは、小学生新聞は、読売と朝日、毎日新聞が出しています。中学生新聞は、以前は、毎日新聞も出していましたが、今は廃刊になり、朝日新聞だけが出しているようです。
町　　長	その他、ご意見等ございますか。なければ、教育長の方で何かござい

	ますか。
教　育　長	今回、生涯学習推進計画第３期を策定し公表を予定しております。人口や生活様式など様々な時代の流れにより、一番大きな課題は、町民の生涯学習を推進していくため、学ぶ意欲をどう醸成していくかであるととらえております。従いまして、施策に町民の生涯学習への意欲の向上策として、どんなことができるかを挙げさせていただいております。公民館で町民が集まって、自分たちで何かを学ぶとか、こちらで作成したプログラムに応じて学んでいただくということが、若干、低調になっている感じがあります。これをそのままにしておきますと、やはり生涯学習の推進という面では、大きなマイナスになると思いますので、なんとか、町民の学習意欲の向上のために、様々な手法をこらして、啓発・醸成を図ってまいりたいと思っているところです。
町　　長	先程、長谷川委員から新聞の話が出ましたが、私の地域でも朝、４時から４時半ごろ新聞配達が回るのですが、以前と比べると配達する家が飛び飛びであるように思います。若者に限らず新聞をとっていない家庭が増えているのではないかと感じています。 生涯学習についてですが、コロナの時期ですので、この時期は耐える・我慢する時期ですので、アフターコロナに向けてしっかりと検証をしながら、進めていっていただければと思います。 それから、先程の活字離れの件につきましては、この後の読書計画でも、出てくるのではないかと思いますので、よろしくお願いいたします。 以上で、生涯学習推進計画について、終了してよろしいでしょうか。 （異議なし）
町　　長	みなさんに、ご了解をいただきましたので、つづきまして、「子ども読書活動推進計画について」説明を願います。
生涯学習課 加藤補佐	資料、那珂川町子ども読書活動推進計画【第３期】（案）により説明
町　　長	ただ今、子ども読書活動推進計画について説明がありましたが、この説明について、委員の皆様よりご質問等ございましたら、お願いいたします。

長谷川委員	36ページで、「借りたい本がいつでも借りられるよう、町図書館が連携して提供できるようにします。」とありますが、町外の図書館とも連携はできますか。もしも、那珂川町の図書館になければ、例えば大田原市の図書館から借りて、那珂川町の子どもが利用することはできますか。
生涯学習課長	図書館につきましては、全ての図書館であるかは把握しておりませんが、県立図書館をはじめ、図書館間の連携はできているような状況です。当町の図書館に無くても、例えば他町のホームページで検索して、借りたい本があれば、町の図書館へ問い合わせいただき、他町の図書館から借りて読書することができるような環境にはなっていると思います。
町　　長	それは、町の図書館で借りてくれるということですか。
生涯学習課長	予め、予約をしていただき、届いた時点で予約された方に連絡をし、町の図書館に借りに来ていただく形になると思います。
町　　長	その他、質問等ありませんか。（質疑なし） ないようですので、先ほどの生涯学習計画の中でも、読書や活字に関するご意見等がありましたので、自由なご意見をいただきながら、意見交換を進めていきたいと思いますが、いかがでしょうか。（異議なし）
町　　長	それでは、私より皆さんにお伺いしたいのですが、当町の子どもたちの読書活動について、教育委員の皆さんは、どのように感じていますでしょうか。ご意見をお聞かせいただければと思います。
長谷川委員	3ページに1か月で全く本を読まなかった子の割合が、県平均に比べて高いとあり、その上段の成果と矛盾している気がします。
教　育　長	30ページに細かいデータがありますが、不読率「本を読まない子の割合」は、県平均が2017年度で4.2%に対して、一番左側が、当町の子どもたちの現状と捉えていただいて、小学校2年生が8.7%、小学校5年生になると20.5%、2割の子が全く読まないという状況です。県に比べると不読率は高いのですが、高い中でも小学校2年生の8.7%というのは、ある程度、働きかけをしているので、この程度に落ち着いているのかという見方ができると思っています。小学校5年生と中学校2年生が2割に近い状況ですので、ここが大きな課題であると捉えております。

長谷川委員	小学校低学年ですと、家庭での読み聞かせなどを行なっているということでしょうか。 JVC は、高校生が中心のボランティアですが、本の読み聞かせなども行なっているので、このような活動を盛んにするとよいかもしれません。
生涯学習課長	JVC の会員は、中学生と高校生です。JVC 本来の活動内容は、子ども会のキャンプ等のレクリエーション指導が主な活動ですが、活動内容を広げる上で、図書館での読み聞かせボランティアを年間のスケジュールの中で会員に割り振りを実施している状況です。現在、会員は 30 名弱で、27 名程度と把握しております。
町　　長	その他何かご意見等ありますか。
小幡委員	勤務していた中学校の様子を見ていても、読む子と全く読まない子の差が非常に大きいと感じていました。どうしたら読ませることができるかということについては、わかりませんでした。
町　　長	小幡委員が子どもの頃は、自発的にお読みになりましたか。
小幡委員	娯楽が少なかったので、今と時代が違っていました。このアンケートでは、漫画は含まないと書いてありますが、中学校では、字が多い本は、なかなか手に取ってもらえないので、司書の先生が漫画を見せたり、町の図書館でも漫画をシリーズで揃えてありました。
町　　長	渡邉委員は、ご意見ございますか。
渡邉委員	「家読」というのは、私たちが子どもの頃はなかったと思います。これを取り入れるようになってから親子のコミュニケーションが取れるようになり、本も読むようになり、良いこと尽くしですが、負担がかかるので、保護者の協力を得ながら続けてもらえたらと思っています。
町　　長	渡邉委員は、子育て中はどうですか。
渡邉委員	正直、３人子どもがおりますので大変ですが、子どものためにと思えばできるので、時間を作って行っています。
町　　長	青木委員は、どうですか。
青木委員	私も読書は好きではなかったので、自分が子どもの頃はあまり読まな

	かったのですが、子どもには読むようにしています。本より楽しいものが周りにありすぎるので、なかなか本に向けるというのが難しいと正直感じます。電子書籍なども有効に利用できれば良いと思います。
町　　長	私が子供の頃も、娯楽が少なかったので、父の兄弟がたくさんおり、お土産に本をもらうのがなにより楽しみでした。昔話や伝記、歴史など色々ありましたが､新しい本を開いた時の匂いが新鮮であったことを 20 年以上も前になりますが､今でも記憶に残っています。この件について、教育長はどのように感じていますか。
教 育 長	今回、子ども読書活動推進計画第３期が、このように策定できましたことにほっとしております。策定の中で、一つの目玉として、青木委員から生涯学習推進計画の中でご発言いただきましたように、「子どもたちに読んでほしい本 100 選」を選定いたしました。同時に小さい子に母親や父親が読み聞かせをするためにふさわしい本を選定することもできました。図書館のスタッフの方にも協力をいただいて、アンケートをとって選定をしました。「子どもたちに読んでほしい本」100 冊と「子どもに読んであげたい本」25 冊を選定できたことが、スタートになると思っています。先ほど、ご意見をいただきましたように、これとタブレットと図書館が連携することが課題となっていて、実際にこれらの本がすべて図書館に揃っているかというと実は揃っておりませんので、今後、これらの本を常時入れておき、学校にも照会できるようにしていきたい。そういったところから、子ども読書活動推進計画の推進について、取り組んでいきたいと考えております。
町　　長	私が感じているのは、昔話は単純におもしろいのですが、小さい子には情操教育にすごく良いと感じています。 それから、秋田県に学校の教員の方々と視察をなさっていると思いますが､秋田県は学力が高く､本や新聞を読む時間が多いと聞いています。現状は、どうでしょうか。
教 育 長	具体的なデータは持ち合わせておりませんが、秋田に視察に行かせていただいたときに、家庭で子どもたちが何をするかというと、宿題をやること、本を読むことは習慣になっていると先生方がおっしゃっていま

	した。そのため、学校の先生が、宿題や本を読むことを促さなくても、子どもたちは、家に帰ると宿題をやること、本を読むことを習慣として毎日続けていると、それは親世代もその前の祖父母の世代もそのようにして生活をしてきたという話をいただいてきました。従いまして、本町でも、そういう子どもたちを育てていきまして、それが世代間で習慣づくようにしていかなければならないと思っています。
町　　長	子どもたちが読書をするようになるためには、全世代で取り組まなければ、一朝一夕には難しいということですが、それはやはり見習うべきだと思います。 読書活動推進計画をまとめていただきましたので、保護者や先生だけでなく地域や皆で力をあわせてすすめていければと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。「那珂川町子ども読書活動推進計画について」は、これで終了いたします。
町　　長	続きまして、協議事項（2）「コミュニティスクールと地域づくりについて」に入ります。生涯学習課の説明をお願いします。
生涯学習課 河和社会教育主事	資料「コミュニティ・スクールと地域づくりについて」により説明
町　　長	ただ今、「コミュニティスクールと地域づくりについて」の説明が終わりました。教育委員の皆様から、ただ今の説明についてご質問等ございませんか。（質疑等なし）
町　　長	この件について、自由なご意見をお伺いできればと思いますが、いかがでしょうか。質問とあわせていただいても構いませんのでお願いいたします。
小幡委員	さきに取り組んでいた馬頭東小学校ですが、職員や子ども達、保護者の声はどうでしょうか。
生涯学習課 河和社会教育主事	先行実施しております馬頭東小学校ですが、教頭先生を中心にコミュニティスクールの取組について、職員に研修を適宜行っております。地域の方々が入ってくるので、先生方は最初戸惑う部分もあったかもしれませんが、本当に気さくに話をしながら、コーディネーターを通して、活動していただいている状況です。児童数が少ないため、清掃や手が回

	らないところを地域コーディネーターの方と話をしながら、清掃をお願いしたり、地元の方しかわからないような地域探検、化石等を案内してくれたりと子どもたちも興味関心を高めて積極的に取り組んでいます。また、田植え等についても、指導者の方と会話を通しながら、「お米作りって、こんなに大変なんだね。」と実感をもって活動ができているところがいいところかと思います。また、それを子ども達も実感していると思います。
町　　長	その他、ご意見等ありませんか。
長谷川委員	地域の昔の遊びを知っている年寄りだとか、例えば下駄づくりや竹細工などの技術をもっているお年寄りに参加してもらうと、年寄りも喜んで参加してくれると思うのですが、地域のお年寄りを活用してはどうでしょうか。
町　　長	ただ今、地域のお年寄りの方に昔の遊びや技術・技を伝承するのに活躍していただいてはどうかというご意見ですが、これに関してはいかがですか。
生涯学習課 河和社会教育主事	ただ今のご意見のようなニーズはあります。学校に自分のお孫さんが通われていない方の中には、学校に立ち寄りにくいという話を聞いたことがあります。そういった方々も参加しやすいので、地域おこしにもつながるのではないかと思います。子どもたちは、地域の方々をよく知らないのが現状なので、「那珂川町の住民はこんなにすごいんだぞ。」と子どもたちも実感できるのではないかと考えます。
町　　長	大内地区の地域の運動会で、縄もじり大会というのがありました。お年寄りから小学生まで、限られた時間で、どれだけ長い縄もじりができるか、子ども達が一生懸命やっているところを見させてもらったり、仲間に入れてもらったりした記憶があります。
渡邉委員	地区を限定しないで、那珂川町全体で募集をかけて、適材適所を振り分けてもらえると良いのではないでしょうか。
生涯学習課 河和社会教育主事	実際に今年度、町の広報誌や学校を通して、ボランティアの募集を行った際に、募集用紙の学校名に丸をつける欄があるのですが、幅広く丸を付けてくださる方がいました。そのような方が町の中に増えていって

	ほしいと思います。
青木委員	協力してくれる方の年齢を問わず、町ぐるみでという感じですか。
生涯学習課 河和社会教育主事	実際に現役世代の方は、なかなか参加は難しいと思うのですが、現在、協力を申し出てくださっている方は、30代からいらっしゃいます。幅広い年代の方に活躍いただけるといいのかなぁと、とくにお母さん世代、子育て世代の方々もこれから増えいっていただけたらと考えております。
町　　長	その他、何かございますか。（意見等なし） 馬頭東小学校で先行して実施いただいておりますが、教育長としての感想はいかがですか。
教育長	ただ今の意見交換では、ボランティアがメインになりましたが、学校運営協議会に地域の方がおりますので、その方が学校の経営方針や、学校がこういう目的でこのようなことを行うということをご理解いただくことが、非常に意義があると思います。馬頭東小学校地区は、元々結びつきが強い地域で、地域で子どもたちを育てようという意識が強いという思いがありました。ただ、実際に学校の取り組みに対して、地域が協力的か、そうでないかでは、かなり違ってまいります。地域の意見を一つにまとめることによって、「学校が、こういうことをしたいんだ。」「じゃあ、こういう風にやろう。」「これをしてあげよう。」という流れができることが、一番の大きな成果だと思っています。
町　　長	コミュニティスクールという新しい取り組みですが、なんでこんなことをしなければならないのかと正直思ったこともあります。今は、小学校が統合されて、かなり広い地域から集めていますが、昔、子どもがたくさんいた頃であれば、元の小学校では、ほとんどの子どもたちの活動範囲が徒歩で歩ける範囲で、育成会も、ＰＴＡもしっかりと活動していました。学校行事も、学校の運動会だけれども、地域の運動会を兼ねているような時代もありました。そういう時代にはコミュニティスクールのような取り組みをしなくても、地域みんなで子どもたちを育てられていたと思いますし、学校の経営方針への理解もできていたように思います。今、それができなくなっている。学校もスクールバスで送迎し、子

	どもの数も集落に一人いるかいないかという状況になってきています。ですから、地域がバラバラの学校をどうやって一つにまとめるかが大きな課題です。目的は、子どもたちの豊かな成長であると思います。そのために、色々な方にお世話になりながら学校を運営する必要があります。これから、町内の全学校でコミュニティスクールを開始するということですから、町民、ＰＴＡが気持ちを一つにして進めていかなければならないと思います。生涯学習だけでなく、行政区長の集まりの中でも啓発活動をして、町民みんなに理解してもらう必要があると思います。
教　育　長	ありがとうございます。いよいよ、４年度からコミュニティスクールの全校実施ということで、準備を進めているところです。今、町長がおっしゃったようなところが、一番の目的とするところでございます。なんとか、教育委員会をあげまして、広報・啓発・周知に努めてまいりたいと思いますので、委員の皆様にもよろしくお願い申し上げたいと思っております。
町　　長	本当に難しい課題だと思いますが、みんなで協力していかないといけないと思います。委員の皆さんからこれについて、何かご意見等ございますか。（意見なし） それでは、協議事項（２）「コミュニティスクールと地域づくりについて」は、皆さんのご協力をお願いして終了とさせていただきます。
町　　長	それでは、以上で本日提案いたしました協議事項は、終了いたしましたので、進行を事務局にお返ししたいと思います。
４　その他	
学校教育課長	ありがとうございました。次第４その他に入らせていただきます。事務局からはございませんが、教育委員の皆様から何かございますでしょうか。（意見等なし） 町長からは、ございますでしょうか。（意見等なし）
５　閉　会	
学校教育課長	学校教育課長が会議の閉会を宣告した。（午後４時５８分閉会）